

自己評価および外部評価結果

| 自己              | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|-----------------|-----|--|---|------|-------------------|
|                 |     |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>理念に基づく運営</b> |     |  |   |      |                   |
| 1               | (1) | 理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                            | 入居者の自由と尊厳を理念を掲げ、管理者と職員が常に意識をしながら実践に向けて日々取り組んでいます。                               |      |                   |
| 2               | (2) | 事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                            | 地域の自治会で催された夏祭り、餅つき大会に入居者様が参加しました。またホーム内で行われた歌謡ショーに近隣の方を招待する等、徐々に交流の輪が広がりつつあります。 |      |                   |
| 3               |     | 事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                          | 月に一度ではありますが、ご近所の方が、入居者様に絵本の読み聞かせのため来所されます。その中で少しずつ認知症への理解を深めていただけるように支援しています。   |      |                   |
| 4               | (3) | 運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている       | 2か月に一度運営推進会議を開催しています。会議開催時に近隣の消防署の立ち会いのもと消防訓練を行うなど、問題意識を高めサービスの向上に活かしています。      |      |                   |
| 5               | (4) | 市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                 | 松戸市認知症高齢者グループホーム協議会に参加した。他のグループホームとの連携を図って事業所間の交流によりサービスの質の向上に努めます。             |      |                   |
| 6               | (5) | 身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 職員全員が拘束をしないケアに取り組んでいます。危険が感じられた時は良く話し合いをして問題解決に取り組んでいます。玄関の施錠はしていません。           |      |                   |
| 7               |     | 虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている       | 虐待防止の研修に参加しています。職員通して常に話し合い防止に努めています。   |      |                   |

グループホームめいと中金杉 自己評価(Bユニット)

| 自己 | 外部  | 項目  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|-----|---|---|------|-------------------|
|    |     |   | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | 権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 市民後見人養成講習会に参加しました。必要な場合は活用できるように努めます。   |      |                   |
| 9  |     | 契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 権利や義務については重要事項説明書に記載しており、ご家族には契約時に書類を見ながら説明しています。不明な点があればその都度質問をしていただくよう話しています。 |      |                   |
| 10 | (6) | 運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 家族は気軽に来られます。その際、管理者や職員は気軽に話していただけるよう支援しています。また月に一度介護相談員も来訪され入居者様と面談しています。       |      |                   |
| 11 | (7) | 運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | どんな意見でも気軽に言えるような雰囲気作りをしています。また管理者も現場でケアに携わる事により、職員が意見や提案を伝えやすくしていきたいと考えています。    |      |                   |
| 12 |     | 就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      |   |      |                   |
| 13 |     | 職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 職員の資格取得(介護福祉士、介護支援専門員など)また各研修等に対する勤務体制の調整や有給休暇取得に対する配慮があります。職場を上げて応援しています。      |      |                   |
| 14 |     | 同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | グループホーム協議会に参加しています。   |      |                   |

グループホームめいと中金杉 自己評価 (Bユニット)

| 自己                       | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|--------------------------|-----|--|---|------|-------------------|
|                          |     |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |   |      |                   |
| 15                       |     | <p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p> | <p>面接の際に、顔の表情、言動、態度を観察して、問題を確認し直ちに対応します。</p>  |      |                   |
| 16                       |     | <p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>            | <p>見学や体験入居などでご家族や本人の不安を取り除き、安心してサービスを受けられるよう努めています。</p>   |      |                   |
| 17                       |     | <p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>        | <p>入居を希望されている本人およびそのご家族と根気強く話し合い、今本人が本当に必要としていることは何かを探求するよう心がけています。</p>                                     |      |                   |
| 18                       |     | <p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>                        | <p>人生の先輩として職員が入居者様より学ぶことも多い、一人ひとりの残存能力を生かし、共に生き生きとした生活を送れるよう支援したいと考えています。</p>                               |      |                   |
| 19                       |     | <p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>         | <p>家族の来訪の際、近況をお伝えしています。体調の変化があったような場合は、時間を追って状況をこまめに電話などで報告しています。これにより家族は職員と同じ側からともに本人を支援という関係が生まれています。</p> |      |                   |
| 20                       | (8) | <p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>                     | <p>入居者様の家族や親せきとの交流がスムーズにいこう支援しています。</p>   |      |                   |
| 21                       |     | <p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>                 | <p>居室でテレビを見て過ごす入居者様をリビングルームに誘導する事を心がけています。また、会話がスムーズに行えるようテーブルの着席位置を時々変えるなどしています。</p>                       |      |                   |

グループホームめいと中金杉 自己評価(Bユニット)

| 自己                              | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|---------------------------------|------|---|---|------|-------------------|
|                                 |      |   | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                              |      | 関係を断ち切らない取り組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                   | 重度化したため他の施設に移動した方その後の様子について時折電話にてお話をうかがっています。                   |      |                   |
| <b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |   |   |      |                   |
| 23                              | (9)  | 思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 一人ひとりの希望・意向には必ずよりそい耳を傾けています。また、日頃から顔の表情や行動の変化からも捉えています。         |      |                   |
| 24                              |      | これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 入居の相談を受けた時から、ご本人のこれまでの暮らしでこられた生活状況を把握する事に努めています。                |      |                   |
| 25                              |      | 暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 職員一人ひとりが、入居者様の心身の状態について細心の注意を払い、入居者様の残存能力を生かした介護を目指しています。       |      |                   |
| 26                              | (10) | チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ご家族の要望・意見と訪問診療の際の医師や看護師の助言を突き合わせ、本人がより良い生活を送るための介護計画実現に努めています。  |      |                   |
| 27                              |      | 個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 各利用者の「個別記録」に、毎日心身の状況観察を記録し、それを職員全員が閲覧して入居者様の最新情報を共有できるようにしています。 |      |                   |
| 28                              |      | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 協力病院との連携がなされ訪問診療のほか受診にあたり送迎車のサービスなどが行われている。                     |      |                   |

グループホームめいと中金杉 自己評価(Bユニット)

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|------|--|---|------|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 |      | 地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | ボランティアの方、介護相談員、消防署の方々に指導・協力を受けています。   |      |                   |
| 30 | (11) | かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | 協力医療機関による診療について十分に納得したうえで適切な医療を受けています。  |      |                   |
| 31 |      | 看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 協力医療機関の看護師と連携し、健康管理等を行っています。  |      |                   |
| 32 |      | 入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 入院先のソーシャルワーカーとの連携に努め、退院や退院後の対応について、円滑に行くように支援しています。また入院中も状態の把握に努め、ご家族が安心して過ごせるように支援しています。 |      |                   |
| 33 | (12) | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 重度化した場合や終末期に至った場合の対応について、今後、個々の利用者との間で合意を形成していく予定です。                                      |      |                   |
| 34 |      | 急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 定期的には行っていませんが必要に応じてその都度確認しています。   |      |                   |
| 35 | (13) | 災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 定期的に行っている消防避難訓練にて消防署より指導を受けています。地域との協力体制も今後作り上げていく予定です。                                   |      |                   |

グループホームめいと中金杉 自己評価(Bユニット)

| 自己                           | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|------------------------------|------|---|---|------|-------------------|
|                              |      |   | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |   |   |      |                   |
| 36                           | (14) | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 言葉がけに注意をしています。プライバシーやプライドに配慮して接することにより、信頼関係を確立するように努めています。    |      |                   |
| 37                           |      | 利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 日常のどんな些細なことも入居者様と話し合い、本人の意思を尊重しています。                          |      |                   |
| 38                           |      | 日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一人ひとりの生活のペースに合わせています。ただし、食事の時間は決まっています。                       |      |                   |
| 39                           |      | 身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 訪問美容を実施しています。毎日お化粧をしている入居者様もいらっしゃいます。                         |      |                   |
| 40                           | (15) | 食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 配膳・後片付けなどを職員と一緒にしています。食事中はテレビをつけず音楽を聞きながら食事をします。              |      |                   |
| 41                           |      | 栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 調理部門に配置されている栄養士の献立を基礎に食事を提供しています。摂取量等は細かく調整しています。             |      |                   |
| 42                           |      | 口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 本人が自分でできる方には歯磨きの声かけをします。一人でできない方には歯磨きの介助を行うほか、入れ歯の洗浄、除菌を行います。 |      |                   |

グループホームめいと中金杉 自己評価(Bユニット)

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価 |                   |
|----|------|--|---|------|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | 排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                              | トイレでの排泄が気持ちが良いこと、との認識を持っていただけるよう小さなサインを見逃さず、声をかけるタイミングを探っています。  |      |                   |
| 44 |      | 便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる  | 排便チェックを行うと同時に水分量、食事量、運動量に気をつけます。  |      |                   |
| 45 | (17) | 入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている                             | 入浴は週2~3回実施しています。入居者様によっては曜日を決めてほしいという希望もあります。できる範囲で要望に応じています。   |      |                   |
| 46 |      | 安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 入居者様本位で好きな時間に自由に休息できる体制を取っています。光、音、室温に注意を払っています。  |      |                   |
| 47 |      | 服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | 職員は入居者様の薬について、全員理解しています。服用にあたっては日付、名前の確認等、細心の注意を払っています。薬に変更や、追加、中止があった場合や、様子観察の指示は申し送りノートに記入をして徹底しています。 |      |                   |
| 48 |      | 役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                             | 新聞を読むことが好きな人、裁縫が好きな人、散歩が好きな人それぞれ職員が共に関わり支援しています。  |      |                   |
| 49 | (18) | 日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 天気の良い日は近くの公園や神社まで散歩の出かけます。また、家族が来訪したときには家族と一緒に外食をすることもあります。   |      |                   |

グループホームめいと中金杉 自己評価(Bユニット)

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----|------|---|--|------|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 金銭的なことについては職員はタッチしていません。   |      |                   |
| 51 |      | 電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 入居者様の家族からの電話の取り次ぎに応じています。また、ご本人からの依頼がある場合はこちらから掛ける事もあります         |      |                   |
| 52 | (19) | 居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | リビングのカーテンを開ける事により光が差し込み明るくなります。外の景色を見ることにより気持ちが穏やかになるようです。       |      |                   |
| 53 |      | 共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | リビングの中にソファを置き、少人数でもゆったりと過ごせる空間があります。そこで裁縫をしたり本を読む事も出来ます。         |      |                   |
| 54 | (20) | 居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 入居に際し、あるいは入居後も使い慣れたものを持ち込んでいただくのは一向に構いません。特に帰宅願望の強い利用者には実践しています。 |      |                   |
| 55 |      | 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 洗面所やお風呂場は普通の家庭と同じような作りになっています。各居室の前には自分の部屋だと分かるよう名前が付いています。      |      |                   |